

クマ出没特別注意報

県では、ツキノワグマの出没が多発するおそれがあることから、令和4年3月25日に「ツキノワグマ出没注意報」を発令したところでありますが、7月11日に猪苗代町で人身被害が発生したことを受けて「ツキノワグマ出没特別注意報」へと引き上げ、7月27日に会津若松市でクマによると推定される人身死亡事故が発生したことを受けて発令期間を8月末日まで延長しましたので、野外で活動する際にはクマに遭遇しないよう、一層の注意をお願いします。

- ◆ 期間 令和4年7月11日～令和4年8月末日まで
(当初発令期間 令和4年3月25日～令和4年7月末日まで)
- ◆ 区域 県内全域（会津若松市を除く）

例年、6月から7月にかけてツキノワグマの目撃が多くなります。特に、夏期は山林に食べるものが少なくなるため、食べ物を求めて活発に行動します。また、子連れのクマや若いオスグマが、奥山から里山へ下りてくることもあります。

こうしたクマとの遭遇を避け、被害を未然に防ぐために次のような心構えが重要です。

1 遭遇しないための心構え

まずは、あなたの周辺にクマがいるのかどうか知ることが大事です。もし、いたとしてもクマは積極的に人間を襲うことはほとんどありませんので、住み着かないような対策や遇わないようにすることがまず必要です。

① クマがいるのかどうか調べてみよう。(痕跡を調べる)

- ◇ クマの糞：人間と同じかちょっと大きめで形も人間と同じ。食べ物によって変化。
- ◇ 足跡：幅は成獣で7～13cm。
- ◇ 熊棚：樹上に折った枝を集めたもので、鳥の巣に似ているが、枯葉がつくことで区別。
- ◇ 熊はぎ：スギやヒノキの樹皮を剥がす行為のこと。樹皮が残り、甘皮部に歯で削いだ痕が残るのが特徴。

② クマの行動を知り、遇わないようにする。

- ◇ クマの痕跡や目撃情報がある場所では突然出遭わないよう特に注意してクマ鈴、ラジオなど音のするものを身につけ、クマに自分の存在を知らせるよう行動する。ヤブなど視界が悪い場所は特に注意し、なるべく近づかないようにする。
- ◇ 春、秋は昼もよく活動している。夏は活発に行動するのは朝夕。人家の近くへ夜間にやってくることもある。また、山際での農作業等は音のするものを身につけて注意して作業をする。
- ◇ 登山など山に入る際には、なるべく複数人で行動するよう心がけ、やむを得ず単独で行動する際も音のするもの身につけて、常に周辺を注意しましょう。
- ◇ 子グマの近くには、親グマがいる可能性が高い。親子グマの場合、子グマを守ろうと親グマが攻撃してくることがあり危険なため、その場から静かに立ち去る。

2 里を餌場と認識させないための心構え

知らず知らずのうちに、クマがあなたの周辺に住み着こうとしているかもしれません。ここはクマの生息できる場所ではないことをはっきりさせるため、次の点に注意しましょう。

- ① 人家の周りにクマの餌となりうる生ゴミ等を放置しない。
- ② 人家の周りに収穫しない柿の木などを放置しない。
- ③ ペットフードや家畜の餌を食べていたクマの報告もあるため、ペットフードなどはフードストッカーや納屋などに保管することが望ましい。

3 出遭ったときに興奮しない、興奮させないために

- ① 遠くにいるのを発見した場合は、あわてずそっと立ち去る。
- ② クマから目を離さないようにして、できるだけゆっくりと後ずさりしながらクマから離れる。クマとの間に立木等の障害物を入れることができる位置に移動することで突進を防ぐこともできる。
- ③ 背中を見せて逃げると、クマは本能的に襲ってくるので、走って逃げない。

問い合わせ先

福島県自然保護課 電話：024(521)7210

各地方振興局で
クマ鈴を貸出します。

